

# 釣塔大学新聞

## 入学試験が終了

### 試験問題流出の公式コメントも発表

釣塔大学の入学試験が行われた。今年の受験者は二五五〇人で前年より九十六人の減であった。

今年の入学試験は、問題の流出騒動が起こり、大学への不信感が高まっていた。十三

日昼ごろ、釣塔大学のアルフレード・ガツチャピン学長から「釣りでした。流出した問題は作成時に却下された問題を構成を変えてわざと流出させたものです。引っかけたってしまった受験生は、今回

得点があまりとれなかったことでしょう。これは不正を働いた人への制裁といたっても過言ではない。情報の信頼性を見極められない者は、わが校には不要である。」と公式発表があり、試験問題の流出は大学側による受験生への釣りであったことが明らかになった。この発表を受けて、大学の失墜しつつあった信頼は一気に回復するもの

と思われる。

また、試験中に腹痛を訴えた受験生の一人が粗相していたことが明らかになり、試験監督者の管理責任が問われている。

なお、入学試験の合格発表は、十九、二十日に行われるが、今年ホームページがまだ復旧していないため、特別に可否結果を郵送することとなった。

## 「塔大生のノート」販売へ

生協が釣塔大学の成績上位者のノートを研究し、塔大生のノートとして、萌えキャラを表紙やページの隅に配したノートの販売を開始する予定である。

開発に協力した、ソーシャルメディア学術学部の黄茂緒卓さんは、「このノートを使ってたくさんの人に僕のように容姿端麗眉目秀麗頭脳明晰完全無欠のデキる大人になってもらいたいです。」と終始笑みを浮かべながら語った。

## お手柄！！塔大生

### 老人を狙ったひったくり犯を捕まえる

軍事学部の富升蔵武さんが備府駅前商店街で買い物をしていたところ、自営業を営む地児居治次さん(84)を狙ったひったくり事件に遭遇した。犯人はオートバイで逃走したが、人間トーマス部で普段から短距離走に勤しんでいる富升さんには敵わず御用となった。

地児居さんは後ろから走ってきた富升さんに突き飛ばされ、腕を骨折したものの命に別条はなかった。

富升さんは、「老人を狙ったひったくりなど



右事件のあった備府駅前商店街

## 露草留紺流

二〇一二年のサークルはどのような花を咲かせてくれるのか。現在、空を飛ぶ部では北海道でのピニール袋十メートル飛行、女子バニーガール部では関東大会ベスト十六という素晴らしい結果を残しているサークルもある。各サークルの方にはこの勢いを保って二〇一二年も突っ走ってほしい。

の卑劣な犯罪は、絶対に許されるべきではありません。」と語った。事件の被害者である、地児居さんは、「かばんには警察には見せられないようなものが入っていたので助かりました。彼には感謝してもしきれません。」と話した。

なお、犯人の男は「俺はね、東京にね、神奈川県の家があつてね、トイレがね、詰まっちゃったんだよ。」などと思味不明なことを供述しており、捜査は難航している。

## 大陰唇

本格統計

## イマキタの筋肉に副作用

医学部で人間への移植に向け研究中のイマキタの筋肉から、人間に使用すると重大な副作用を起す恐れのある物質が発見された。

この物質はフヘラチオと呼ばれ、人体に入ると血液中の赤血球と酸素の約七百倍の強さで結合し、最悪の場合、酸欠乏症を引き起こし死に至ることが知られている。

これを受け、移植に向けた研究は中断され、組成の分析が急務となった。